

（１）広域調整池とは

広域調整池は、地震災害時などの非常事態でも、県及び市町村の配水池などの容量と合わせ１人当たり１８０リットルの水道水を確保するための緊急貯水槽の役割を担うもので、県が設置しているものです。

愛知県海部広域調整池は、直径２８．３ｍ、有効水深１４．７０ｍ、有効貯水容量９，２００ｍ^３の円筒状のタンクで、２０２０年に供用開始されています。



愛知県海部広域調整池

（２）応急給水支援設備とは

応急給水支援設備は、県営水道の送水管（空気弁）に設置して、大規模地震の発生時に、避難場所（学校、公園等）、医療機関、福祉施設等に対し、臨時に、県営水道から直接、水道水を供給するための設備です。



(3) 支援連絡管とは

支援連絡管は、県営水道の送水管と市町水道などの基幹水道管とを接続することにより、大規模地震等の被災時に、市町などの水道に対して、配水池を経由せず、県の送水圧力により水道水を供給する施設です。

